

水位周知河川、簡易型河川監視カメラ、危機管理型水位計について

1 水位周知河川

●水位周知河川の状況

・河川の規模や人口・資産の集積状況等を考慮し、**洪水予報河川3河川と水位周知河川38河川を指定済み。**

(1)令和4年度の実施内容

令和4年7月大雨被害を受け、市町村へ追加要望調査を実施。

また、被害が甚大であった鳴瀬川水系名蓋川(大崎市・加美町)について、水位周知河川の検討を実施。

(2)令和5年度の実施内容

1)追加指定について

・名蓋川(北部管内)の水位周知河川へ令和5年に指定済。

2)追加要望調査を実施。

・追加要望調査結果から、技術的に水位周知河川指定の指定可能性のある河川について、**水位設定の検討を実施し、関係市町村と調整中である。**

①令和5年度に検討を開始した河川(指定の可能性がある河川)

6河川6区間 落堀川、夏川、美女川、名取川、松川(阿武隈川水系)、新川(阿武隈水系)

⇒検討の結果、水位上昇の速度が速く、リードタイムがとれないなどの課題があり、現在継続検討中である。

2 危機管理型水位計

(1)危機管理型水位計の概要

・「中小河川緊急対策プロジェクト」(平成29年12月)において、洪水に特化した低コストの水位計(危機管理型水位計)の設置を位置付け。(設置費用は、300万円/基程度)

・河川の水位が一定の水位を超過すると観測を開始し、危機管理型水位計運用協議会ウェブサイト「川の水位情報」で表示され、誰でもリアルタイムで川の水位が確認が可能。

(2)令和5年度の実施内容

・令和4年7月の大雨被害を受け、**市町村要望を反映し、追加箇所を検討した。**

(3)宮城県内の設置状況

・平成30年9月から運用を開始し、県内132か所で運用中。

・令和7年6月から、県内9基を追加し、合計141基で運用する。

気仙沼・南三陸圏域に係る設置については、八幡川に1基を予定している。

(4)令和7年度の実施内容

・設置済み箇所の機器を更新する。



図：設置状況(参考)

3 簡易型河川監視カメラ

(1)簡易型河川監視カメラの概要

・平成31年1月に改訂された「水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画」中に、簡易型河川監視カメラの設置が位置付け。

・機能を限定(ズームや首振り機能を削除。設置費用は、300万円/台程度)。

・「川の水位情報」で誰でもリアルタイムで確認可能。(10分毎の静止画像)

(2)令和5年度の実施内容

・令和4年7月の大雨被害を受け、**市町村要望を反映し、追加箇所を検討した。**

(3)宮城県内の設置状況

・令和3年4月から県内65か所で運用を開始し、現在、県内93箇所で開催中。

・令和7年6月から県内32基を追加し、合計125基で運用する。

気仙沼・南三陸圏域に係る設置については、鹿折川1基、面瀬川1基を予定している。

(4)令和7年度の実施内容

・設置済み箇所の機器を更新する。



図：監視状況(折立川)